

統一コード採番付与規則

1. 【目的】

当社で販売する製品および商品についての標準化を図るため、製品コード（以下、統一コード）の付与方法を定めることにより、海外販社との受発注連携（マルチサイト運用）を可能にし、グローバルな管理を実現させ、効率化に寄与することを目的とする。

2. 【適用範囲】

当社で販売する製品および商品のすべてに適用する。

3. 【製品および商品の種類】

対象となる製品および商品は、下記の8種類とする。

＜例＞

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| (1) 自社製品 | →VJシリーズ、RJシリーズ |
| ・自社製品として製造した製品 | |
| (2) OEM製品 | →OEM製品 |
| ・OEM（相手先ブランド）として製造した製品 | |
| (3) 特注製品（別注品） | →PG-1000（自動給紙装置対応） |
| ・自社製品を改造した製品 | |
| (4) 製品仕入 | →VC、PJ、ドラフター、MFシリーズなど |
| ・自社ブランドとして販売している製品 | |
| (5) 商品仕入 | →JetFusion、3DSなど |
| ・他社ブランドを販売している製品 | |
| (6) オプション・サプライ品（製品） | →巻取り装置、MPインクなど |
| ・自社ブランドのオプション・サプライ品 | |
| (7) オプション・サプライ（商品） | →ロール紙（きもと）、3D造形粉など |
| ・他社ブランドのオプション・サプライ品 | |
| (8) 保守サービス契約 | →年間保守、メンテナンスパック、サポートパックなど |
| ・自社および他社の製品に対する保守サービス契約 | |

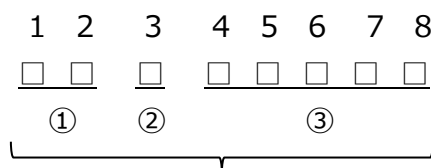
4. 【統一コードの分類】

対象となる製品および商品の統一コードは、下記の3種類とする。

- (1) 製品および商品の新品
- (2) 製品および商品の中古品
- (3) 製品および商品の展示品・貸出品

5. 【基本コード構成】

(1) コード構成の形式1（新品）は、下記の構成とする。



既存コード

①：エリア記号

→「生産（仕入）する会社」

MUT = 1U

MAI = 1A

MEN = 1E

MAU = 1B

→販社で仕入れたものを日本等で販売する場合を想定

②：予備番号

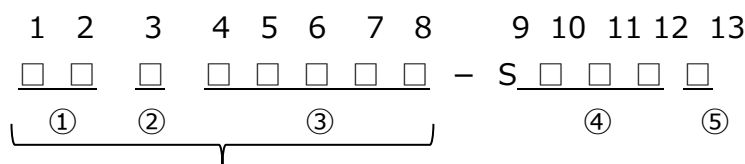
原則として0番のみ使用

③：連番（営業コード）

→「JANコード」は、③ 5桁を使用

既存の製品コードを有しているものは継続して使用し、新規採番する際は
20000番台から連番で採番する

(2) コード構成の形式2（中古品 Second hand）は、原価管理が新品と異なるため、既存コードに下記を追加した構成とする。



既存コード

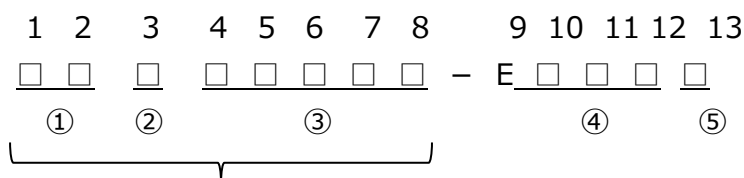
④：連番（枝番号）

製品および商品ごとにハイフンで区切り、S001番から連番で採番する

⑤：識別記号（枝番号）日本:U/MAI:A/MEN:E/MAU:B

※ 日本含む販社の識別子を付番させ分類

(3) コード構成の形式3（展示品 Exhibition）は、個別の物件管理・原価管理が必要となるため、既存コードに下記を追加した構成とする。



既存コード

④：連番（枝番号）

製品および商品ごとにハイフンで区切り、E001番から連番で採番する

⑤：識別記号（枝番号）日本:U/MAI:A/MEN:E/MAU:B

※ 日本含む販社の識別子を付番させ分類

6.【統一コードの採番例】

別紙「統一コード採番例」を参照

7.【統一コードの採番・管理】

当社で販売する製品および商品の統一コードの採番・管理は、下記の部門が行うものとする。

- (1) 製品（仕入含む）の新品は、各事業部の商品企画部門が品目申請をして、
情報システム部で採番・管理を行うものとする
- (2) 商品（仕入含む）新品は、各事業部の営業部門が品目申請をして、
情報システム部で採番・管理を行うものとする
- (3) 製品および商品の中古品、展示品、保守サービスは、各事業部の営業部門が
品目申請をして、情報システム部で採番・管理を行うものとする

8.【統一コードの採番の時期】

当社で販売する製品および商品の統一コードの採番の時期は、下記のとおりとする。

- (1) 製品（仕入含む）の新品は、商品企画書発行時に採番する
- (2) 商品（仕入含む）の新品は、各事業部または営業部門が初回発注時までに採番する
- (3) 製品および商品の中古品は、中古品として適合性が認められた時に採番する
- (4) 製品および商品の展示品は、展示・貸出の手続きをした時点で採番する

9.【英語表記の統一】

販社では英語表記が異なるケースが存在するため、商品企画書に英語表記（Description）も併記する。

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第1版	2019年10月1日	初版発行